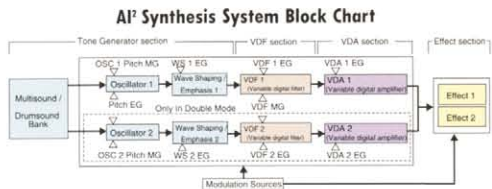


高品位PCMサウンドがイメージーションを増幅する
新開発・aiスクエアシンセシスシステム搭載

トーンジェネレータからエフェクターまで、音源に始まり、音楽を完成させるまでの全プロセスを完全デジタル制御。高品位なサウンドデータを最大限に活かす、ミュージシャンのイメージを再現するのがaiシンセシスシステムです。そして、全世界で賞賛の声を浴びたその実績を、サンプリングタイム、マルチサウンド数、ボイス数、さらにはサウンドエディットの可能性、フィルター、エフェク



に至るまでグレードアップ。もちろん、これら全てはコルダのデジタルテクノロジーの結晶。それが01/Wseriesに搭載されたaiスクエアシンセシスシステムです。

プロフェッショナルの果てしない要求を高次元で実現する

01 W seriesのサウンドキャラクターメイク

豊富なマルチサウンドバリエーションが表情あふれるプレイを約束。

求めるサウンドを表現するための素材となるのがマルチサウンド。特に、弦楽器などのシミュレーションサウンドの作成においては、このマルチサウンドのクオリティが、そのまま最終的に生み出される音を左右します。01/Wseriesは、本体内部にROM容量を贅沢に使った超・高品位なマルチサウンドを搭載。もちろん、同一サウンドソースでも、微妙にニュアンスの異なったマルチサウンドを数多く搭載していますから、奏法の違いによるサウンドの表情の変化をきめ細やかに再現することができます。例えばギターサウンドなどで、弦の鳴りが強調されたハードなコードバックからミュートを利かせたファンキーなバックキングまで、01/Wseries1台でリアリティあふれるプレイが可能になります。また、ピアノなど幅広い音域を持つ楽器のサンプリングポイントの中心から離れた音は、響きに微妙な変化が生じがちです。これはポイント間でのサウンドのギャップを生む原因。01/Wseriesのマルチサウンドはスプリットポイントを豊富に設定。これにより、ピアノノードやストリングスのアルペジオなど広い音域を使ったプレイでも、最低音から最高音まで、常にナチュラルできめ細やかなサウンドを再現することができます。このようにして作られたシミュレーションサウンドのプログラムどうし、または全く違うプログラムと組み合わせコンビネーションを作成することにより、さらに表情豊かなサウンドと完成させることができます。さらに01/Wseriesでは、豊富なドラムサウンドから構成されている4つのドラムキットを搭載。リアルなドラムサウンドからSE風パーカッションまで、ジャンルや好みに合わせてキットをセレクトし、強力なリズムセクションを作成することができます。

マルチサウンドの表現力をさらに高めるウェーブシェイピング機能搭載。

プラスのプレズイズの微妙なニュアンスや、大胆なレゾナンスの表現は、PCM波形を使った音源で再現するのは、大変困難な領域でした。01/Wseriesは

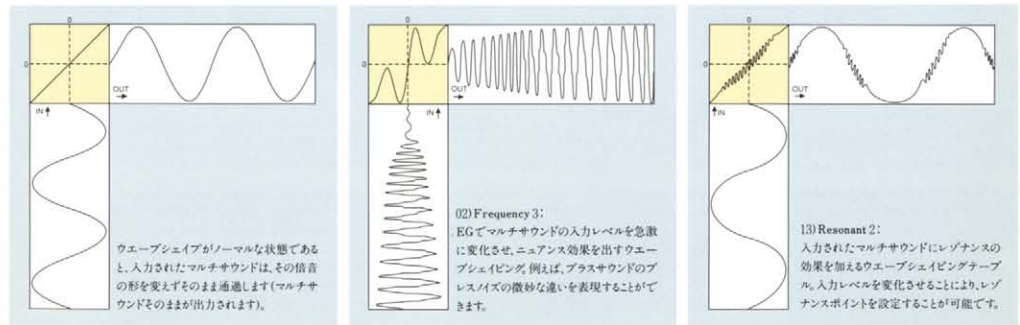
60種のウェーブシェイピングテーブルを用意。その中から任意のテーブルをセレクト、そこにマルチサウンドを当てはめ倍音をエディットすることにより、微妙なニュアンスの表現はもちろん、マルチサウンドを大胆に変化させ新たな音の素材として活用することが可能。高品位マルチサウンドのさらなる可能性を引き出し、変化に富んだサウンドメイクにアプローチすることができます。

●ウェーブシェイピング機能

ウェーブシェイピング機能とは、60種の中から任意にセレクトしたウェーブシェイピングテーブルに、オシレーターから出力されたマルチサウンドをWSEG(エンベロープジェネレータ)により変形率を調整して入力し、マルチサウンドにはなかった倍音を発生させる機能です。PCM波形を使ったシンセサイザーの場合、トーンジェネレータで、マルチサウンドをセレクトした段階でその音色の色彩はほぼ決定しますが、この機能により、フィルターなどでは不可能な倍音の付加を実現。マルチサウンドに微妙なニュアンスをプラスしたり、全く異なったサウンドを創造することができます。

Wave Shaping Table List

00 Sine	15 GeoGraphic	30 Take 2	45 Rezzo
01 2 Cycle	16 Replie	31 Take 3	46 Super Res.
02 Frequency 3	17 Sync Star	32 Take 4	47 Accordion
03 Frequency 7	18 Profile	33 Take 5	48 Triangles
04 10 Cycle	19 Star	34 Experiment	49 Invert 2
05 Caocoon	20 Take 1	35 Real Steep	50 7th Res.
06 Double Sine	21 Vialings	36 Pulse 5	51 Waves
07 Phase	22 Forest	37 Bow Bass	52 Take 6
08 20 Cycle	23 Zigzag	38 Pulse Oct	53 Exciter
09 Attack Lip	24 High Pass	39 Invert 1	54 Boostar
10 Symmetry	25 Line Sine 1	40 Integrs	55 Clavier
11 Frequency 8	26 WS Bass	41 Super Sqr	56 Soft Road
12 Resonant 1	27 Soft Curve	42 Line Sine 2	57 Rubber
13 Resonant 2	28 Sinosity	43 Conk	58 Pentatola
14 Zinger	29 Log Sine 1	44 Snake	59 Wurlly



音色作りへの新しいアプローチが可能になる大容量トーンジェネレータセクション。ビッグスケールのトーンジェネレータセクションには、マルチサウンド、ドラムサウンドを豊富に搭載。同一サウンドソースの奏法によるバリエーションやリアルなドラムサウンドなど、微妙なニュアンスをも再現する高品位な響きを作り出すことが可能です。もちろん、豊富なサウンドライブラリーにより、マルチサウンド/ドラムサウンドを追加することもOK。さらに、ウェーブシェイピング機能でオシレーターから出力されるマルチサウンドに倍音を付加。新しいアプローチによるサウンドメイクが可能です。

VDF & VDAセクションによる自由な音色表現

トーンジェネレータセクションで作られた音声信号に音量変化を与え、コント

ロールするのが、このVDF(variable digital filter)とVDA(variable digital amplifier)セクションです。高品位マルチサウンドを活かすフレキシブルなフィルターリングを実現。きめ細やかな音色ニュアンスを設定することができます。サウンド空間を自在に操る独立2系統マルチエフェクト。aiスクエアシンセシスシステムを締めくくのがエフェクトセクション。リバーブ、ディレイ、コーラス、ディストーションはもちろん、エキサイター、ロータリーエフェクトなど47種類を搭載。さらに、各パラメータを細かく設定し、シリアル、パラレル、パラレル2と、3種類の組み合わせで使用することが可能。ナチュラルな響きからトリッキーなサウンド効果まで、幅広く活用することができます。

多彩なサウンド空間と幅広い音楽スタイルを演出する

高性能ステレオマルチデジタルエフェクター

最終的にサウンドを完成させるために、エフェクターは必要不可欠な存在。01/Wseriesは、専用機にも匹敵するクオリティを持つ完全2系統のステレオマルチデジタルエフェクターを搭載しています。リバーブ、ディレイを始め、ディストーション、ロータリースピーカーなど、エフェクトの種類は47種。シリアル、パラレル、パラレル2の3タイプのプリセメントが可能です。さらには、ダイナミックモジュレーション機能を装備。プレイヤーの好みや演奏スタイルに応じ、フットペダル、ジョイスティック、アフタータッチ、VDAレベル、VALUEスライダーなどの各コントローラーで、エフェクトレベル、モジュレーションスピード、ロータリースピーカーのスピードの切り替えが可能。ライブステージなどで、リアルタイムにエフェクトをコントロールすることができます。

高品位サウンドを音楽へ——16チャンネルマルチ音源機能

最大16の独立したプログラムをMIDIによりコントロール。シーケンモードでは、16パートの演奏を行うことができます。エフェクトまでの完成されたサウンドを、さらに音楽へと導く、「ミュージックワークステーション」としての重要な機能。外部シーケンサー、コンピュータなどのMIDIシステムの中で、マルチ音源としてもその機能を十分に発揮します。

ハイクオリティミュージックの誕生。プロフェッショナルのクリエイティビティを

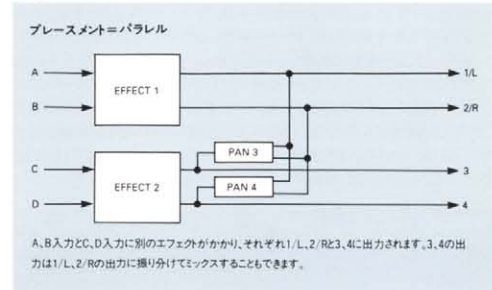
トップレベルで表現する高性能16トラックシーケンサー搭載

クリエイターの感性を、ダイレクトに音楽として表現するための、ミュージックワークステーションの最終段階。そのシーケンサーセクションには、リアルタイムレコーディング、ステップレコーディングが可能な高性能16トラックシーケンサーを採用。フルデジタルプロセスによるピュアなサウンドを活かし、高品位な音楽を作成することができます。各トラックには、プログラムチェンジ、バッキングなどの情報もレコーディング可能。さらに、ドラムパターンや複雑なハーモニーを入力する際便利に同一トラックへのオーバーダビング、ループ、そしてリタルダンドなどのテンポの動きにも対応できるテンポトラックのエディットなど、音楽表現の可能性を広げるスペックを満載しています。

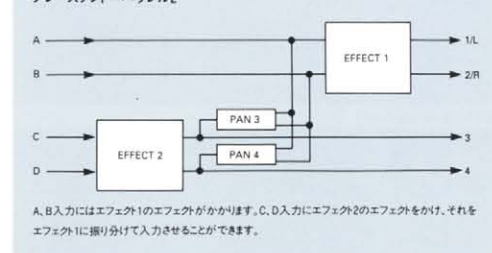
Effect Variations

01 Hall(Reverb)	17 Multi Tap Delay 2	33 Stereo Phaser 2
02 Ensemble Hall(Reverb)	18 Multi Tap Delay 3	34 Rotary Speaker
03 Concert Hall(Reverb)	19 Stereo Chorus 1	35 Auto Pan
04 Room(Reverb)	20 Stereo Chorus 2	36 Tremolo
05 Large Room(Reverb)	21 Quadrate Chorus	37 Parametric EQ
06 Live Stage(Reverb)	22 Cross Over Chorus	38 Chorus-Delay
07 Wet Plate(Reverb)	23 Harmonic Chorus	39 Flanger-Delay
08 Dry Plate(Reverb)	24 Flanger 2	40 Delay/Hall(Reverb)
09 Spring Reverb	25 Spharic 2	41 Delay(Room-Reverb)
10 Early Reflection 1	26 Spharic 1	42 Delay/Chorus
11 Early Reflection 2	27 Cross Over Flanger	43 Delay/Flanger
12 Early Reflection 3	28 Exciter	44 Delay/Distortion
13 Stereo Delay	29 Enhancer	45 Delay/Over Drive
14 Cross Delay	30 Distortion	46 Delay/Phaser
15 Dual Mono Delay	31 Over Drive	47 Delay/Rotary Speaker
16 Multi Tap Delay 1	32 Stereo Phaser 1	

Effect Placement



Effect Placement in Parallel 2



Effect Placement in Serial

